

2015年

# 5月▶6月の星空



この図は

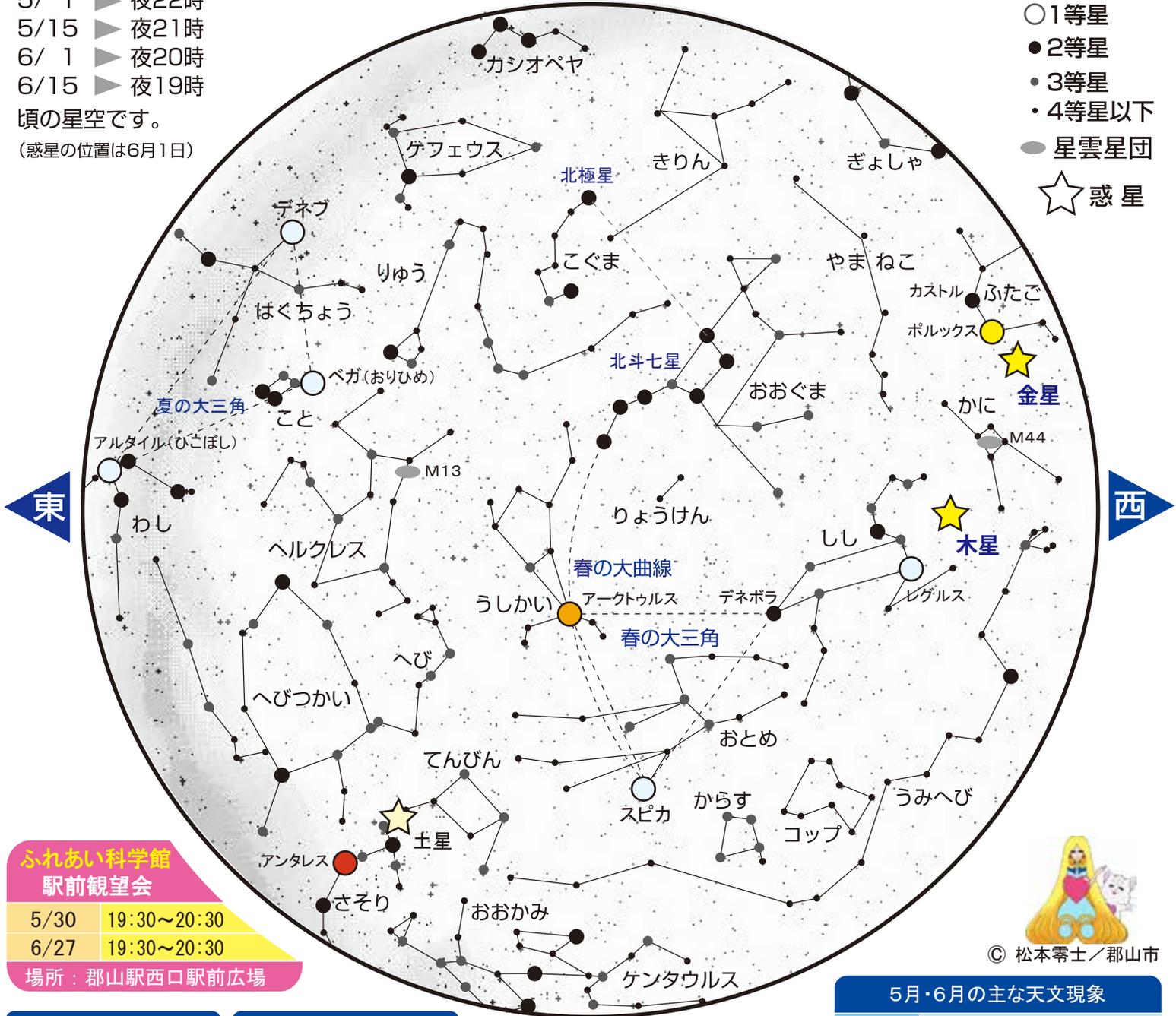
- 5/ 1 ▶ 夜22時
- 5/15 ▶ 夜21時
- 6/ 1 ▶ 夜20時
- 6/15 ▶ 夜19時

頃の星空です。

(惑星の位置は6月1日)

北

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆ 惑星



ふれあい科学館  
駅前観望会

5/30 19:30~20:30

6/27 19:30~20:30

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

郡山の日の出・日の入

5/ 1	4:49	18:29
5/15	4:35	18:40
6/ 1	4:26	18:53
6/15	4:24	19:00

月の満ち欠け

新月	5/18, 6/16
上弦	5/26, 6/24
満月	5/ 4, 6/ 3
下弦	5/11, 6/10

※上弦、下弦は半月です。

南

5月・6月の主な天文現象

5/ 6	みずがめ座流星群が極大
5/ 7	水星が東方最大離角
6/ 7	金星が東方最大離角
6/21	夏至

この時季には、金星と木星が西の空で目を引きます。金星は6月の始めに東方最大離角（惑星が太陽から東側に最も離れて見えること）を迎え、午後9時を過ぎても「宵の明星」の美しい輝きを見せています。金星の上には、木星が見えています。月日がたつにつれて金星と木星は星座の間を動き、どんどん近づいていきます。2つの惑星が隣り合うように並ぶと、夜空でひときわ目立つようになりますのでご注目ください。この近くに三日月前後の月が並ぶ日（5月22日、6月20日頃）は、さらにおすすめです。南東の空からは、金星たちより遅れて土星が昇ってきます。一晩で3つの惑星を見つけられるか、挑戦してみてください。

さて、春の星座たちも見ごろとなりました。頭の上に見えているひしゃくの形をした「北斗七星」から、ひしゃくの曲がった柄を南へ伸ばしていくと、うしかい座の1等星「アークトゥルス」と、おとめ座の1等星「スピカ」を見つけることができます。これを「春の大曲線」といいます。また、2つの1等星にしし座の2等星「デネボラ」を加えると、「春の大三角」のできあがりです。夜も暖かくなってきたこの時季は、夜空を見上げるにはぴったりの季節です。ぜひお気に入りの星を見つけてみてください。

